

●千年続く暮らしと棚田

中ノ俣集落は上越市街地から峠を4つ越えたところにあります。人々は千年以上も前からこの地で暮らし、棚田での稲作を続け、祭りや芸能など様々な文化を育んできました。この地では息づく自然・歴史・文化を肌で感じることができます。



●地域や仲間との交流

米づくりの講師をつとめる中ノ俣の方々は、自然と共に生きていく知恵と技術を持った達人です。また、長年角間の棚田で耕作をしている「棚田学校の先輩たち」も棚田と里山を楽しむ方を教えてくれます。収穫後の慰労会も楽しみの一つです。



●安心安全な水と米

米を育てる水は、清流・中ノ俣川の上流から用水を通して棚田に注ぎ込み、生活排水の混入はありません。できるだけ農薬の使用を控え、安全な米づくりを目指しています。刈り取った稲はハサにかけて時間をかけて天日干しするため、甘みが増しておいしくなります。

- 年間スケジュール -

必須参加（全8回） ※都合がつかない場合はご相談ください			任意参加（オプション）	
第1回	4/16(日)	開校式・田起こし 堆肥まき	4月上旬	用水清掃
第2回	5/21(日)	田植え	下旬	用水清掃
第3回	6/18(日)	田の草取り 畦の草刈り	6月上旬	電気柵設置
第4回	7/23(日)	田の草取り 畦の草刈り	下旬	用水清掃
第5回	8/27(日)	ハサ作り	*任意参加の作業もおいしい米を作るため、また棚田の景観を守るための大切な作業ですので、ぜひご参加ください。	
第6回	9/17(日)	稲刈り・ハサがけ		
順次	10月上旬	脱穀	9月下旬	稲あげ
第7回	10/29(日)	ハサこわし・清掃	～10月上旬	
第8回	11/19(日)	畦の修繕 慰労会・修了式	11月中旬	電柵撤去
			12/24(日)	しめ縄作り
			2/18(日)	雪上の棚田散策



- 天候や稲の生育状況によりスケジュールが変更されることもありますので、あらかじめご了承ください。
- 手作業、減農薬での米作りを基本としています。収量の目安は1区画(約1アール)あたり30kg~40kg程度ですが、気候条件等により大きく左右されることがありますのでご了承ください。



棚田サポーター也大募集!

「ちょっと棚田作業を体験してみたい」「棚田の保全に協力したい」という方は、「棚田サポーター」として好きな回を選んで参加できます(保険料100円)かみえちご山里ファンクラブで使えるお楽しみポイントが付きます!



お申込みにあたりご不明な点はお気軽にご相談ください!